



# ハクチョウゲ [白丁花]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 外来種



**科名** アカネ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：普通

初夏咲く小さな白い花が印象的。花期の5～7月を過ぎても、秋までちらほらと咲き続ける。細かく枝分かれし葉が密生するため生垣に向いている。樹名は丁子形の白い花に由来する。近縁種にピンクの花のシチョウゲや八重咲きのほか葉に斑の入るフィリハクチョウゲもある。



花



葉とつぼみ



斑入り品種



シチョウゲ

## Memo

部分的に落葉したり、寒地など気象条件により一部が落葉する場合、半落葉(半常緑)という。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実		(結実を確認していない)											
紅 葉													
施 肥		■											
剪 定								■ (花後早めに) ★★					

★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)

好みの環境				
日当り	陽	○	○	耐陰
土 壤	乾		○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

## ポイント

萌芽力が強く、刈り込みに耐えるため、混植の垣根などに利用すると単一の生垣に変化をつけられる。暖地の植物なので、関東以西での配植がお薦め。寒地では半落葉になる。

## 剪 定

強剪定に耐え、葉が密に出るので綺麗な刈り込みができる。生長が遅いため生垣は低めの設定がお薦め。剪定は年一度、花後早めにするとうい。

## 病虫害

病虫害は少ない。